

入札状況の常時監視
報告書
(令和5年度)

令和6年10月
名古屋市

目 次

はじめに	1
1 入札状況の常時監視の概要	
(1) 目的	2
(2) 対象	2
(3) 内容	2
(4) 公表	2
(5) 常時監視の流れ	3
(6) 監視体制	4
(7) 公正入札アドバイザー	4
(8) 会議開催実績	5
(9) 結果	5
2 入札状況の概要	
(1) 発注件数・落札金額	6
(2) 平均入札者数・平均落札率	6
(3) 特殊要因分析	
・ 入札不調の発生状況	7
●参考（これまでの主な入札制度改善・用語の解説）	8

はじめに

これまで本市では、電子入札の導入、一般競争入札の拡大といった談合が行われにくい制度づくりや、談合が行われた際のペナルティ強化などに取り組んできました。しかし、平成18年以降、全国各地で公共工事を巡る談合事件が相次いで摘発されており、平成15年には本市の工事を舞台とした事件も起こりました。

これらの事件をきっかけとして、さらに「談合行為を見逃さない」という観点を新たに加え、本市が行うすべての工事に係る入札状況について点検するとともに、その情報を市民の皆様と共有することといたしました。その取り組みが、全国で初の試みとして平成19年4月からスタートした「入札状況の常時監視」です。

この報告書は、令和5年度における「入札状況の常時監視」の1年分の結果を取りまとめたものです。

今後とも、公正な入札の確保に向けて一層努力してまいります。

令和6年10月

1 入札状況の常時監視の概要

(1) 目的

- ・ 談合等不正行為の早期発見と抑止
- ・ 監視結果の公表による本市の入札、契約手続の透明性・公正性の向上

(2) 対象

令和5年度に契約を締結した工事の入札

(3) 内容

公正入札アドバイザーの指導・助言を得て、前月分の入札結果を分析し、入札に不自然な状況がないか監視

談合等が疑われるような場合には、本市公正入札調査委員会が、公正入札アドバイザーに指導・助言を求めながら調査を行い、調査結果を公正取引委員会及び愛知県警へ通報

ア 全件分析

すべての工事の入札について、業種ごとに入札者数、落札率等を取りまとめ

イ 詳細分析

業種・案件を絞り込み、入札状況を詳細に分析

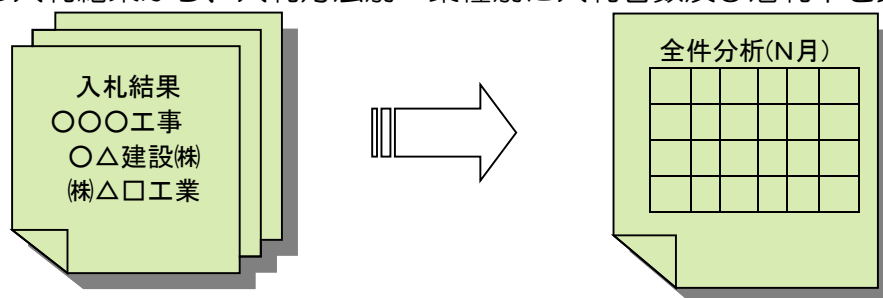
(4) 公表

全件分析結果については、毎月本市ウェブサイトで公表

(5) 常時監視の流れ

ア 入札結果の集計・・・入札月の翌月初旬

毎月の入札結果から、入札方法別・業種別に入札者数及び落札率を集計



イ 全件分析と詳細分析対象業種の絞り込み・・・入札月の翌月初旬

集計結果を基に業種ごとの傾向を踏まえ、詳細分析を行う業種を絞り込む。



ウ 詳細分析・・・入札月の翌月中旬～下旬

“イ”で絞り込みを行った業種について、工事内容や入札参加状況などを分析するとともに、必要に応じて複数月にわたる分析を実施



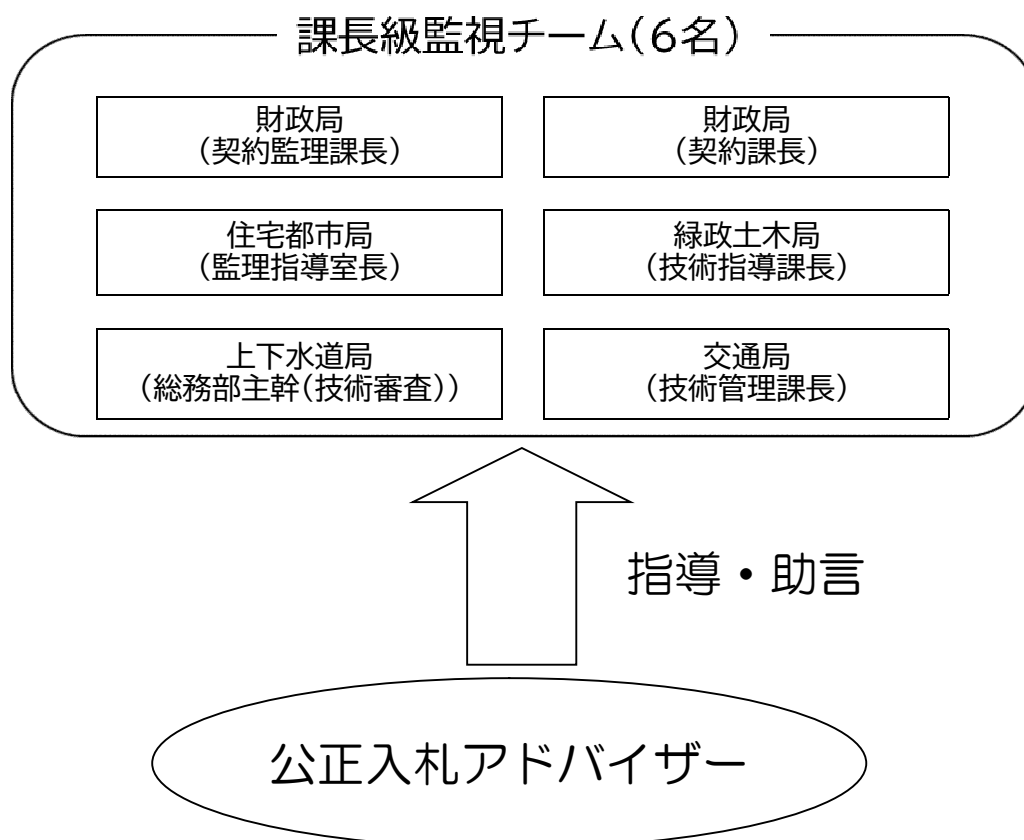
エ 公表・・・入札月の翌月下旬

全件分析結果について、本市ウェブサイトで公表



(6) 監視体制

財政局と各工事担当局の課長級職員により構成する専門の「監視チーム」が公正入札アドバイザーの指導・助言を得ながら入札状況を監視



(7) 公正入札アドバイザー

(令和6年10月現在)

氏名	職業
長谷川 鋤治	弁護士 (元名古屋地方検察庁検事)

(8) 会議開催実績

第 1 回	令和5年 5月24日
第 2 回	令和5年 6月27日
第 3 回	令和5年 7月19日
第 4 回	令和5年 8月24日
第 5 回	令和5年 10月24日
第 6 回	令和5年 11月30日
第 7 回	令和5年 12月21日
第 8 回	令和6年 1月30日
第 9 回	令和6年 3月26日
第10回	令和6年 4月19日

(9) 結果

令和5年度及び令和4年度の入札結果を比較し、平均入札者数は0.5者増、平均落札率は0.1ポイント減と大きな増減は見られませんでした。

月ごとに比較した場合においても、主に下水道、配水管布設、電気、管、舗装にて入札者数の増減が見られましたが、詳細の入札結果を分析し、特に不自然な結果は見られませんでした。

また、入札時に事業者が提出した総合評価落札方式における自己評価加算点申告表の内容について詳細分析を行い、抽出した40件のうち6件に配置出来ない可能性がある技術者の記載がありました。配置出来ない技術者を記入する理由として、確認不足や限られた技術者を同時期の落札案件で既に従事させていること等が考えられますが、当該事業者が落札候補者とはならなかったことから問題はないと判断しました。

2 入札状況の概要

令和 5 年度契約分の入札全件について、工事の業種ごとに入札者数・落札率等を取りまとめました。

- (1) 発注件数・落札金額（※発注件数は入札不調を除く。以下同じ。）
- ・ 29 業種で合計 2,416 件の発注が行われ、このうち 1,869 件（約 77%）が一般競争入札により行われました。
 - ・ 総落札金額（単価契約分を除く。以下同じ。）は約 1,386 億円、このうち約 1,374 億円（約 99%）が一般競争入札により行われました。
 - ・ 発注件数は、一般土木（320 件）、管（261 件）、舗装（259 件）、電気（210 件）、機械設備（182 件）の順で多く、この 5 業種で全体の約 5 割を占めました。
 - ・ 総落札金額は、一般土木（約 154 億円）、下水道（約 228 億円）、建築（約 211 億円）、電気（約 126 億円）、管（約 122 億円）の順で多く、この 5 業種で全体の約 6 割を占めました。

（資料 1、2）

(2) 平均入札者数・平均落札率

- ・ 一般競争入札の平均入札者数は 8.8 者、平均落札率は 91.7%、指名競争入札の平均入札者数は 4.3 者、平均落札率は 92.5%でした。
- ・ 入札全体では、令和 4 年度と比べて平均入札者数は 0.5 者多く、平均落札率は 0.1 ポイント低くなっています。
- ・ 平均入札者数は、令和 4 年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて多い傾向がみられました。
（令和 4 年度 4.2 者 → 令和 5 年度 4.5 者）
- ・ 平均落札率は、令和 4 年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて低くなっています。
- ・ 一般競争入札と指名競争入札の両方で発注があった 21 業種のうち、一般競争入札の方が指名競争入札に比べ平均入札者数が少な

った業種は「特殊電気」「水・汚泥処理設備」「造園」の３業種でした。また、一般競争入札の方が指名競争入札に比べ平均落札率が高かった業種は、「一般土木」「道路標識設置」「特殊電気」「舗装」「水・汚泥処理設備」の６業種でしたが、その差は０.６～１.５％に留まり大きくはありませんでした。

（資料１、２）

- ・ 発注金額階層別（予定価格で算出。単価契約を除く。）の平均落札率を見ると、５００万円未満や５億円以上の発注金額階層別の工事においては、他の発注金額階層別工事の平均落札率に比べやや高い傾向が見られました。

これは、高額かつ大規模な工事は施工可能な事業者が限られることや、少額の工事は事業者が敬遠することにより入札者が少なくなるため、競争性が下がり落札率が高くなっていると考えられます。

（資料３）

- ・ 入札者数別で見ると、入札全体では令和４年度と同様に、入札者数が多くなるほど競争性が向上し、平均落札率が低くなる傾向が見られました。

（資料４）

（３）入札不調

- ・ 入札不調の発生状況

令和５年度は、第２四半期から第３四半期にかけて入札不調が増加しましたが、令和４年度と比較して入札不調の発生率は低く、全体として１.１ポイント減少しました。

これは、入札参加資格の緩和、最新の単価による積算、発注時期の平準化など入札不調防止策を講じたことによるものと考えられます。

（資料５）

●参考

（これまでの主な入札制度改善）

一般競争入札の拡大

本市では、競争性等の向上のため、一般競争入札を拡大してきました。

平成 8 年 4 月	予定価格 21 億 6,000 万円以上（政府調達協定適用（当時））の工事について一般競争入札を実施
平成 15 年 10 月	予定価格 6 億円以上の工事に拡大
平成 18 年 4 月	予定価格 5,000 万円以上の工事に拡大
平成 20 年 4 月	予定価格 1,000 万円以上の工事に拡大

予定価格の事前公表

本市では、透明性を向上させるため、次のように予定価格の事前公表の実施を拡大してきました。

平成 16 年 7 月	工事の全ての入札について実施
平成 18 年 4 月	測量・設計等の全ての入札について実施

電子入札の導入

本市では、競争性等の向上のため、電子入札の導入を進めてきました。

平成 16 年 7 月	調達情報サービスシステム（発注見通しや入札予定等をインターネットで提供するシステム）の運用開始
平成 16 年 11 月	入札参加者登録システム（競争入札参加申請をインターネットで受け付けるシステム）の運用開始
平成 17 年 9 月	電子入札システム（インターネットを利用して入札を実施するシステム）の運用開始
平成 18 年 6 月	全ての入札を対象に電子入札の実施

(用語の解説)

一般競争入札

入札参加資格要件を満たす事業者であれば入札に参加することが可能であり、競争性・公正性が高い入札方式ですが、指名競争入札に比べて入札手続に時間を必要とします。

指名競争入札

市が適正な能力がある事業者をあらかじめ選定して競争させる入札方式で、一般競争入札に比べて効率的に入札手続を進めることができます。

※本市における工事の指名者数は、原則として６者以上となります。

総価契約

総額を請負金額とする契約を指します。

単価契約

作業や資材の１単位あたりの単価で契約し、出来高に応じて代金を支払う契約を指します。

平均落札率

全件分析などに掲載されている平均落札率は、単純平均で示しています。また、本市では低価格入札への対応として、最低制限価格制度及び低入札価格調査制度を導入しており、一定の価格を下回る入札をした入札者は落札者となることができません。

(例) A業種３件の平均落札率の算出方法

※３件の落札率（注１）がそれぞれ７０％、８０％、９０％だった場合。

※それぞれの予定価格及び落札金額の大小は考慮していません。

$$\frac{70+80+90}{3}$$

(注１) 落札率…予定価格（注２）に対する落札金額の割合（パーセント）のことです。

$$\text{落札率} = \frac{\text{落札金額}}{\text{予定価格}} \times 100 (\%)$$

(注２) 予定価格…契約を締結するにあたって材料費や労務費などを考慮して積算し設定する上限価格です。

全件の入札状況(令和5年度)

業種	件数	平均入札者数	平均落札率
一般土木	320	6.4	90.2%
下水道	165	11.9	90.4%
軌道	10	1.0	99.6%
水道	12	5.3	91.0%
配水管布設	151	15.5	89.6%
建築	164	3.6	93.4%
とび・土工・コンクリート	46	8.2	90.5%
道路標識設置	13	9.8	90.4%
解体	5	10.0	90.4%
電気	210	5.6	94.1%
屋外照明	86	15.0	90.7%
特殊電気	18	1.3	97.5%
受変電	45	8.3	93.6%
管	261	13.7	91.8%
鋼構造物	4	1.5	93.7%
舗装	259	9.0	89.6%
しゅんせつ	1	1.0	97.4%
塗装	47	7.4	88.5%
区画線設置	25	13.8	91.5%
防水	5	6.8	91.6%
内装仕上	2	1.0	99.2%
畳	3	8.0	91.9%
機械設備	182	1.6	95.5%
水・汚泥処理設備	93	2.2	95.3%
計装設備	43	1.0	97.7%
電気通信	38	3.3	94.4%
造園	187	4.4	91.3%
さく井	2	2.0	95.2%
消防施設	19	4.3	92.1%
合計	2,416	7.7	91.9%
前年度(合計)	2,496	7.2	92.0%

全件の入札状況(詳細)(令和5年度)

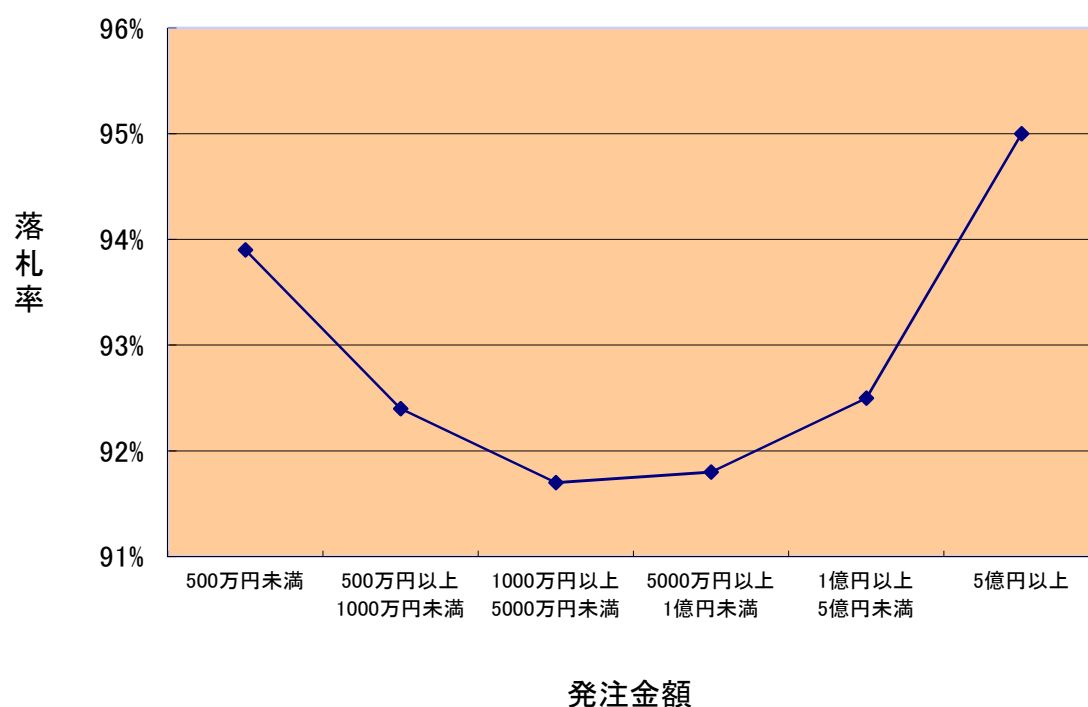
業種 入札方式	一般競争入札				指名競争入札				入札合計			
	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)
一般土木	211	7.0	90.8%	15,348,719	109	5.3	88.9%	45,728	320	6.4	90.2%	15,394,446
下水道	163	12.0	90.3%	22,773,529	2	7.5	95.7%	10,500	165	11.9	90.4%	22,784,029
軌道	10	1.0	99.6%	576,337	0	0.0	0.0%	0	10	1.0	99.6%	576,337
水道	11	5.7	90.5%	4,969,580	1	1.0	96.9%	2,900	12	5.3	91.0%	4,972,480
配水管布設	151	15.5	89.6%	7,900,204	0	0.0	0.0%	0	151	15.5	89.6%	7,900,204
建築	137	3.9	93.3%	20,916,047	27	2.0	94.0%	139,714	164	3.6	93.4%	21,055,761
とび・土エ・コンクリート	40	8.8	90.0%	1,212,242	6	4.2	93.6%	22,158	46	8.2	90.5%	1,234,400
道路標識設置	7	11.7	90.7%	141,049	6	7.5	90.1%	29,736	13	9.8	90.4%	170,785
解体	5	10.0	90.4%	86,949				0	5	10.0	90.4%	86,949
電気	166	6.7	93.4%	12,389,729	44	1.5	97.0%	245,968	210	5.6	94.1%	12,635,696
屋外照明	41	22.4	86.8%	425,930	45	8.2	94.3%	21,583	86	15.0	90.7%	447,513
特殊電気	11	1.2	97.8%	4,564,532	7	1.4	96.9%	20,829	18	1.3	97.5%	4,585,360
受変電	40	9.2	92.9%	4,652,279	5	1.0	99.1%	14,790	45	8.3	93.6%	4,667,069
管	228	15.1	91.6%	12,141,260	33	3.8	92.8%	27,208	261	13.7	91.8%	12,168,468
鋼構造物	4	1.5	93.7%	87,730	0	0.0	0.0%	0	4	1.5	93.7%	87,730
舗装	201	9.5	89.8%	6,581,093	58	7.2	88.6%	55,646	259	9.0	89.6%	6,636,739
しゅんせつ	1	1.0	97.4%	125,900	0	0.0	0.0%	0	1	1.0	97.4%	125,900
塗装	46	7.5	88.5%	2,341,033	1	1.0	90.0%	2,142	47	7.4	88.5%	2,343,175
区画線設置	18	16.2	91.1%	353,916	7	7.9	92.4%	31,834	25	13.8	91.5%	385,751
防水	5	6.8	91.6%	191,255	0	0.0	0.0%	0	5	6.8	91.6%	191,255
内装仕上	2	1.0	99.2%	677,400	0	0.0	0.0%	0	2	1.0	99.2%	677,400
畳	0	0.0	0.0%	0	3	8.0	91.9%	10,873	3	8.0	91.9%	10,873
機械設備	114	1.7	95.4%	5,229,198	68	1.5	95.7%	270,754	182	1.6	95.5%	5,499,952
水・汚泥処理設備	59	2.1	95.8%	5,303,009	34	2.4	94.3%	166,374	93	2.2	95.3%	5,469,384
計装設備	32	1.0	97.1%	1,166,147	11	1.0	99.4%	33,260	43	1.0	97.7%	1,199,407
電気通信	34	3.5	94.2%	3,775,437	4	1.5	95.5%	17,640	38	3.3	94.4%	3,793,076
造園	119	4.3	91.9%	3,156,481	68	4.7	90.2%	19,530	187	4.4	91.3%	3,176,012
さく井	2	2.0	95.2%	34,132	0	0.0	0.0%	0	2	2.0	95.2%	34,132
建具				0				0				0
消防施設	11	6.1	91.0%	280,893	8	1.8	93.5%	32,101	19	4.3	92.1%	312,994
清掃施設				0				0				0
合計	1,869	8.8	91.7%	137,402,012	547	4.3	92.5%	1,221,267	2,416	7.7	91.9%	138,623,279
前年度(合計)	1,921	8.2	91.8%	127,459,050	575	4.0	92.4%	1,581,891	2,496	7.2	92.0%	129,040,941

※落札金額は、単価契約(一般競争入札53件、指名競争入札274件)を除く。

発注金額階層別入札状況（令和5年度）

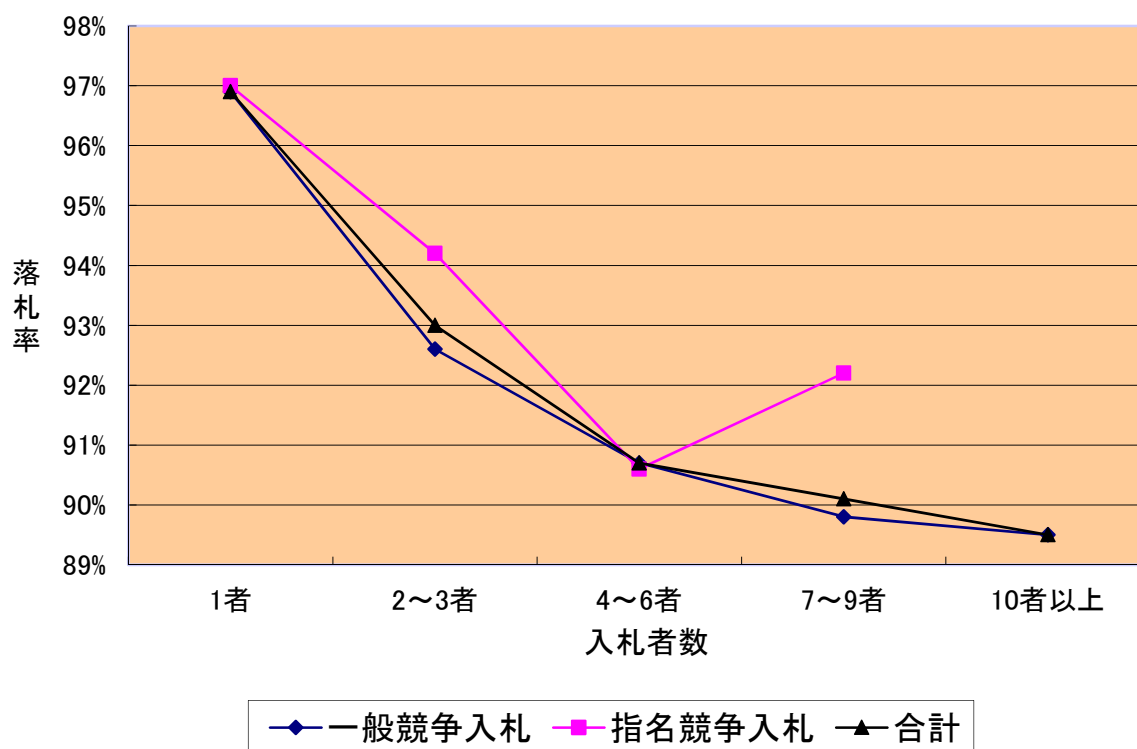
発注金額	落札金額総額(千円)	構成比	平均落札率	(参考)件数
5億円以上	44,112,377	31.8%	95.0%	36
1億円以上	47,020,532	33.9%	92.5%	257
5000万円以上	22,905,952	16.5%	91.8%	352
1000万円以上	21,997,192	15.9%	91.7%	933
500万円以上	1,821,250	1.3%	92.4%	263
500万円未満	765,975	0.6%	93.9%	248
合計	138,623,279	100%	92.2%	2,089

※単価契約を除く。発注金額、落札金額は税抜き。



入札者数別入札状況（令和5年度）

入札方式 入札者数	一般競争入札		指名競争入札		合計	
	件数(件)	平均落札率	件数(件)	平均落札率	件数(件)	平均落札率
1者	375	96.9%	130	97.0%	505	96.9%
2～3者	318	92.6%	87	94.2%	405	93.0%
4～6者	312	90.7%	32	90.6%	344	90.7%
7～9者	207	89.8%	24	92.2%	231	90.1%
10者以上	604	89.5%			604	89.5%
合計	1,816	91.8%	273	94.9%	2,089	92.2%



入札不調の発生状況(令和5年度)

区 分	総入札件数 (件)	入札不調件数 (件)	入札不調発生率
第1四半期 (4月～6月)	797 (732)	16 (44)	2.0% (6.0%)
第2四半期 (7月～9月)	860 (1012)	71 (81)	8.3% (8.0%)
第3四半期 (10月～12月)	585 (619)	56 (64)	9.6% (10.3%)
第4四半期 (1月～3月)	344 (342)	27 (20)	7.8% (5.8%)
合 計	2,586 (2,705)	170 (209)	6.6% (7.7%)

※1 入札不調とは、入札参加者が無かったもの及び入札参加者はあったが落札者が無かったものをいう。

※2 総入札件数には、入札不調件数を含む。

※3 括弧内は前年度実績を掲載。

再入札工事分析(令和5年度)

区分 業種	再入札工事			当初発注で入札が成立した工事		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
一般土木	10	5.4	92.9%	310	6.4	90.1%
下水道	2	10.0	88.7%	163	12.0	90.4%
建築	10	2.4	94.4%	154	3.6	93.3%
電気	14	1.9	97.0%	196	5.9	93.9%
屋外照明	2	27.5	86.2%	84	14.7	90.8%
受変電	2	1.0	99.8%	43	8.6	93.3%
管	5	24.8	90.7%	256	13.5	91.8%
舗装	18	5.1	92.9%	241	9.3	89.3%
塗装	1	1.0	92.4%	46	7.5	88.4%
機械設備	5	1.8	94.6%	177	1.6	95.5%
水・汚泥処理設備	4	1.0	99.6%	89	2.2	95.1%
計装設備	2	1.0	95.9%	41	1.0	97.8%
造園	17	4.1	92.5%	171	4.4	91.2%
消防施設	1	2.0	95.0%	18	4.4	91.9%
合 計	93	5.2	93.9%	1,989	7.4	91.6%

※1 再入札工事とは、当初発注で入札不調となった工事を再発注し、入札が成立したものをいう。

※2 再入札工事がなかった業種(15業種、340件)を除く。

機械・電気設備工事(令和5年度)

区分 業種	既設工事			新設工事		
	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率	件数 (件)	平均入札者数 (者)	平均落札率
電気	176	5.8	94.3%	34	4.8	93.4%
特殊電気	18	1.3	97.5%			
受変電	40	9.1	93.3%	5	1.6	95.6%
機械設備	160	1.5	95.8%	22	2.4	93.5%
水・汚泥処理設備	81	2.3	95.0%	12	1.7	96.8%
計装設備	36	1.0	98.7%	7	1.0	92.8%
電気通信	34	3.2	94.4%	4	4.5	94.1%
消防施設	18	4.4	92.1%	1	1.0	92.0%
合計	563	3.7	95.1%	85	3.2	94.0%